



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：麻酔科 滝澤 麻奈

【研究責任者】

聖路加国際病院 麻酔科 滝澤 麻奈

無痛分娩から緊急帝王切開に移行された方を対象とした

術中麻酔に関する研究

1.研究の対象

2017年4月～2023年4月に当院にて無痛分娩を予定したが緊急帝王切開が必要となった方

2.研究の目的・方法

現在、当院麻酔科が担当する硬膜外無痛分娩は一昨年度1000件を超え、都内でも最多の無痛分娩件数となっております。硬膜外無痛分娩の経過の中で緊急帝王切開となり、帝王切開分娩麻酔へ移行することは、妊婦さんの全身麻酔の使用を最小限とするための方法としてあげられますが、この移行が上手くいかずに全身麻酔となると、気道の管理や麻酔薬の胎児や分娩への影響など、予測不可能な危険が生じる可能性があります。硬膜外無痛分娩から帝王切開分娩麻酔への移行が上手くいかない場合の危険因子を理解することは、その成功率を高めるために役立ち、患者さんの安全とケアの質を向上させると考えられます。今回硬膜外無痛分娩から帝王切開分娩麻酔への移行時の危険因子について調査することで周産期麻酔管理の安全性の向上を目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2024年6月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年10月6日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、合併症、既往歴、前治療（子宮収縮促進剤もしくは抑制剤の使用）、年齢、妊娠前および分娩時の体重(kg)、身長(cm)、BMI、入院時の在胎週数、単胎か多胎か、分娩回数、硬膜外麻酔施行時の子宮口 (cm) 等